

宮崎の人には何でもないことが、都会の人にはとてもぜいたくなこと。



やしていく取り組みをされるといいのではないかでしょうか。

戸敷 多くの人に宮崎と関係をつくつてもらい、良さを発信してもらうことが大事ですね。僕さんご意見を参考に、長期的な取り組みをしていきたいと思います。

まずは大人が気付くべき「何もないとわけではない

戸敷 今年度は市内の中学生と話をする機会を多く設けているのですが、「宮崎には何もないですよね」と言われたことがあります。だから「高校を卒業したら県外の大学に行って帰ってこないかもしれません」と。若者に対し

て魅力あるまちづくりも課題の一つです。

俵 何もないというのは、大人がそう思っているからではないでしようか。宮崎の魅力に大人が気付かなければ、子どもは気付きようがないかもしれません。まずは大人が「〇〇があるよ」と答えられることが大事だと思います。

また一度県外に出てみるとは、宮崎の良さに気付くきっかけになる気がします。県内で進学するにしても、宮崎だからこそできるという研究や開発を、産学官が一緒にやって積極的に行うこともあります。

戸敷 なるほど。大人が宮崎の魅力を再確認して、しっかりと子

もに伝えていかなければいけませんね。現在宮崎大学では、地方創生について学んでいる学生がさまざま取り組みを行っています。進学などで県外に出たとしても、また戻ってきてみたいと思われます。

俵 横浜に住んでいるおのがよく遊びに来るので、「こっちの時間は濃い」と言います。宮崎の人にとっては当たり前のことでも、宮崎だからこそできることが、青島でサークルをしたりキャンプでたき火を楽しんだりすることが気軽にできます。都会に住んでいる子どもにとってはとてもぜい

フインをしたりキャンプでたき火を楽しんだりすることが気軽にできます。都会に住んでいる子どもにとってはとてもぜい

戸敷 宮崎市の中学校の課題の一つが、中心市街地の活性化です。市ではアリーナ構想もあり、JR九州や宮崎交通と一緒に宮崎駅を中心としたまちづくりをしようとしています。芸術・文化的な面で何かアイデアはありますか。

俵 歌人・若山牧水の出身地でもありますし、宮崎を「短歌県」にしてはどうでしょうか。正岡子規の出身地の愛媛県は、俳句ポストが

に宮崎の魅力をアピールしてもいいのではないかでしょうか。

戸敷 宮崎市のまちづくりの課題の一つが、中心市街地の活性化です。市ではアリーナ構想もあり、JR九州や宮崎交通と一緒に宮崎駅を中心としたまちづくりをしようとしています。芸術・文化的な面で何かアイデアはありますか。

俵 歌人・若山牧水の出身地でもありますし、宮崎を「短歌県」にしてはどうでしょうか。正岡子規の出身地の愛媛県は、俳句ポストが

あり、俳句甲子園や県民俳句大会が定着している「俳句県」です。

宮崎も「牧水・短歌甲子園」を開催していますし、他県にはない文化的な特徴がアピールできれば素敵だと思います。

戸敷 確かにそうですね。スポーツにはかなり力を入れているのですが、芸術・文化的なもので盛り上げていくことも大切ですね。

俵 文化とスポーツを分けて考えなくていいと思います。例えたりイベントなどをみてはいかがでしょうか。

戸敷 それは面白いですね。プロ野球のキャンプでも、選手を見るだけではなく、見た感想を短歌に

詠んでもらうのもいいかもしれません。

俵 子どもたちにはなるべくそのような体験をしてほしいです。

SNS(会員制交流サイト)など

で短い言葉で発信することに慣れていることもあります。短歌は今、若者の間で盛んです。昨年の牧水・短歌甲子園では宮崎西高校が優勝しましたし、宮崎大学には学生短歌会があります。宮崎の若者の創作レベルは高いと感じています。

戸敷 最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

俵 皆さんに温かく迎え入れていただき、本当にお世話をなっています。私は移住して3年で、まだ宮崎を外から見る目を持つていました。暮らしをこれからもう少し楽しんでください。

戸敷 市内にもいくつか若山牧水の歌碑があります。高校生や大学生が頑張っているのであれば、それにはスポットを当てるのもいいかもしれません。

俵 皆さんに温かく迎え入れていただき、本当にお世話をなっています。私は移住して3年で、まだ宮崎を外から見る目を持つていました。暮らしをこれからもう少し楽しんでください。

宮崎の魅力を引き出すため、まずは大人が率先して意識を変えよう。

対談の動画はココから

